

序 文

同志社大学商学部が、新制大学として発足してこのかた、本年をもって十周年に当る。顧みるに、わが商学部のこの十年の歩みは、必ずしも坦々たるものではなかつたが、この間幸い学園をあげての協力によって、いまや完備せる大学院（修士課程並びに博士課程）を併せもつ第一級の商学部として、白他ともに許すまでに成育したことは、まことに御同慶にたえない次第である。

この秋、これを記念するために、かれこれと記念行事を営むこととなり、その一環として、ここに「同志社大学商学部創立十周年記念論文集」を編集し、これを学界におくることは、まことに喜ばしい限りである。

さきに五周年にも、同様の趣旨から、記念論文集を発行し、幸い各方面からの好評を得たが、今回は、さらに商業・貿易部門と経営・会計部門とに分け、それぞれ別冊としてまとめることとし、これに収録されている論文は、商業・貿易部門では十三編、経営・会計部門では十一編の多きを数えている。

今回の記念論文集を通して、われわれが、わけて喜びと誇りをもつのは、その内容からみて、ただに論文の量的豊富という面だけでなく、その質的向上にある。とくに、この僅々五カ年の間に、若い人達が学問的にあっばればな成長をとげ、それぞれ古い人達に劣らない労作をもって、この論集を埋めていることであらう。

もつとも、わが商学部としては、この現状に満足するものではない。さらに本学部の新展開のために、今後またゆまざる精進と研鑽を重ね、次の機会には、より一層充実した論集の発刊を念願している次第である。大方の忌憚なき

御高評を通して、一段の御鞭撻を賜わるならば、この上もない幸わせである。

昭和三十三年十一月二十九日、同志社創立第八十三周年を祝いつつ。

同志社大学商学会長

吉川貫二